

クラス番号	905	担当教員名	奥田 亜由子
テーマ	利用者理解と高齢者への支援方法		
ゼミナール概要			
目的、内容、方法等： 社会福祉の歴史の中でも障がい者や児童と比べ、高齢者福祉の実践は比較的浅いものの、老人福祉法に加えて、2000年の介護保険制度の創設により全国で介護保険施設、在宅サービスが整うこととなった。社会福祉法人や医療法人に限らず、株式会社、NPO等さまざまな事業主が介護保険サービスを展開し、民間の活力が導入され、その複雑な資源、サービス等を含むケアマネジメントを担当する専門の相談員としてケアマネジャー（介護支援専門員）が大量に養成されることとなった。そのため、医療・保健・福祉の国家資格等、さまざまな実務経験の専門職がケアマネジャーとなる道が開けた。さらに、平成18年度に在宅介護支援センター社会福祉士の配置とともに地域包括支援センターにも社会福祉士が配置されることになり、社会福祉士の就職先が確立された。ともにケアマネジメントを実践していく専門職であり、大学卒業後の社会福祉士として採用される職種のひとつになった。 相談援助職のプロである社会福祉士、ソーシャルワーカーを目指す学生として、『利用者理解と高齢者への支援方法・社会福祉士・ケアマネジャーの役割』をどう考え、実践していくのかをこのゼミではていねいに学んでいく。さまざまな制度やサービスが存在する環境の中で生活する利用者個々のニーズに応じたケアマネジメントを展開するために、必要な視点や技術は何なのかを研究する。 高齢者福祉、介護保険、ケアマネジャーに関する参考文献や資料を検索し、読みこなすことにより、議論できるテーマをもとにレジュメを作成し、プレゼンテーションを実施する。各自または、グループでの学習をすすめる。研究方法の基礎をみにつけ、研究した結果をレポートにまとめ、報告書として提出する。3年時の専門演習につなげられるように自分で学ぶ力を身につける。			
授業計画： 1. 介護保険制度を学び、レポートにまとめ、プレゼンテーションする。 2. 各自、市町村に行き、介護保険制度について調べてくる。 3. 介護保険制度についての研究の報告書を作成する。 4. 介護保険制度におけるケアマネジャーの役割を学び、実際にその業務を理解し、ケアプランを作成する。 5. 地域包括支援センターやケアマネジャーの現場体験をするか、ケアマネジャーの研修に参加する。 (学内にのみにとどまらない、活動を考えていきましょう) 6. ケアマネジャー、地域包括支援センター職員等にインタビュー調査を実施し、仮説を検証する。 7. 社会福祉士やケアマネジャー等の役割についての調査研究の報告書を作成する。			
担当教員からのメッセージ			
 いろいろな事柄に疑問を持ち、自ら調べる姿勢が必要です。相談援助技術の核となるコミュニケーション技術を高めるつもりでゼミに参加しましょう。個別の研究と仲間とのグループ単位での学習および研究を行います。受け身の姿勢ではなく、積極的に学ぶ学生の参加を期待しています。 3年次から始まる専門演習、実習の事前学習となり、将来の仕事の夢を考え、社会福祉士を目指すことにつながるように1年間取り組みましょう。 それぞれが役割を決め、クラスでの交流、学外の活動なども計画しましょう。			